

前項ノ體格検査ハ未成年海員力其成年ニ達スル迄ハ毎年一回周期的ニ之ヲ行フコトヲ要ス

第五 理 由

(甲) 本調査會ニ於テハ大體ニ於テ「十八歳未滿ノ者ヲ火夫又ハ石炭夫トシテ其ノ労働ニ從事セシムルコトヲ得ス」トノ趣旨ヲ妥當ナルモノト認メ原則トシテ之ヲ採用スペキコトヲ可決シタリ。其理由ノ重ナルモノ左ノ如シ

(二) 人ノ一生ノ最大ナル幸福ハ其ノ心身ノ健全ニシテ長命ナルヲ得ルニ在リ身心ノ健全並ニ長命ヲ希ハムトセバ其ノ幼年時代ニ於ケル發育期ニ於テ其ノ圓滿ニシテ健全ナル發達ヲ遂ゲシムル様助長スルト同時ニ苟モ其ノ發育ヲ妨ダベキ事項ハ勢メテ之ヲ避ケシメザルベカラズ

醫學上ノ定説ニ依レバ人體ハ二十歳乃至二十五歳迄ハ其ノ發育期ト稱スベク日本人ニ在リテハ大體ニ於テ十三歳ヨリ十六歳迄ハ其ノ發育最モ旺盛ニシテ十七歳及ビ十八歳之ニ次ギ十九歳乃至二十歳ニテ發育ノ速度大ニ減ズルモ

ノ・如シト謂ウ

兒童身長體重胸圍表(自明治三十三年十八年間平均文部省調査)						
年 齡	身 長	一歲間ノ差	體 重	一歲間ノ差	胸 圍	常時一歲間 ノ差
十一歳	四、二二	一三	六、五九	六〇二	二〇三	六
十二歳	四、二五	一七	七、六一	七四二	二〇九	七
十三歳	四、四二	一九	八、〇〇三	一、〇〇一	二、一六	九
十四歳	四、六一	二三	九、〇〇三	一、三六三	二、三五	一〇
十五歳	四、八四	二二	一〇、三六六	一、五一四	二、三五	一一
十六歳	五、〇五	一四	一一、八八〇	一、〇一六	二、四六	一〇
十七歳	五、一九	七	一二、八九六	七二九	二、五六	六
十八歳	五、二六	三	一三、六二五	四一八	二、六二	五
十九歳	五、二九	二	一四、〇四三	二八三	二、六七	二
二十歳	五、三二	一	一四、三二六	一三一	二、六九	二
二十一歳	五、三三	〇	一四、四五七	六	二、七一	二
二十二歳	五、三三	一	一四、四六三	〇	二、七一	二
		六	二、七一	〇	二、七一	二
			八、一、八二九	二、七一	二、七一	二